

会 議 録

会 議 名	令和元年度第2回戸田市障害者施策推進協議会																		
開催日時	令和元年10月21日（月） 午後2時～4時																		
開催場所	戸田市役所5階 大会議室A																		
会長氏名	新井 利民																		
委員出欠席	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"><input type="checkbox"/> 新井 利民 会長</td> <td style="width: 33%;"><input type="checkbox"/> 小山 昌彦 副会長</td> <td style="width: 33%;"><input type="checkbox"/> 坂下 正直 委員</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 江口 枝里 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 佐藤 太信 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 野口 永見 委員</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 稲辺 忠奎 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 大出 睦子 委員</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 中村 雅樹 委員</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 吉川 洋一 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 川上 幸子 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 田中 庸介 委員</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 小林 加名子 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 矢作 裕一 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 石塚 忠雄 委員</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 佐藤 由里 委員</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 木戸 和行 委員</td> <td><input type="checkbox"/> 久川 理恵 委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※ <input type="checkbox"/> 出席 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 欠席</p> <p>オブザーバー 田中(長岡) 恵美子 先生（東京家政大学）</p> <p>※謝礼の支出について</p> <p style="padding-left: 2em;">除外：木戸委員、久川委員（公務のため）</p> <p style="padding-left: 2em;">辞退：田中委員、矢作委員、江口委員（辞退届提出あり）</p>	<input type="checkbox"/> 新井 利民 会長	<input type="checkbox"/> 小山 昌彦 副会長	<input type="checkbox"/> 坂下 正直 委員	<input checked="" type="checkbox"/> 江口 枝里 委員	<input type="checkbox"/> 佐藤 太信 委員	<input type="checkbox"/> 野口 永見 委員	<input type="checkbox"/> 稲辺 忠奎 委員	<input type="checkbox"/> 大出 睦子 委員	<input checked="" type="checkbox"/> 中村 雅樹 委員	<input checked="" type="checkbox"/> 吉川 洋一 委員	<input type="checkbox"/> 川上 幸子 委員	<input type="checkbox"/> 田中 庸介 委員	<input type="checkbox"/> 小林 加名子 委員	<input type="checkbox"/> 矢作 裕一 委員	<input type="checkbox"/> 石塚 忠雄 委員	<input type="checkbox"/> 佐藤 由里 委員	<input checked="" type="checkbox"/> 木戸 和行 委員	<input type="checkbox"/> 久川 理恵 委員
<input type="checkbox"/> 新井 利民 会長	<input type="checkbox"/> 小山 昌彦 副会長	<input type="checkbox"/> 坂下 正直 委員																	
<input checked="" type="checkbox"/> 江口 枝里 委員	<input type="checkbox"/> 佐藤 太信 委員	<input type="checkbox"/> 野口 永見 委員																	
<input type="checkbox"/> 稲辺 忠奎 委員	<input type="checkbox"/> 大出 睦子 委員	<input checked="" type="checkbox"/> 中村 雅樹 委員																	
<input checked="" type="checkbox"/> 吉川 洋一 委員	<input type="checkbox"/> 川上 幸子 委員	<input type="checkbox"/> 田中 庸介 委員																	
<input type="checkbox"/> 小林 加名子 委員	<input type="checkbox"/> 矢作 裕一 委員	<input type="checkbox"/> 石塚 忠雄 委員																	
<input type="checkbox"/> 佐藤 由里 委員	<input checked="" type="checkbox"/> 木戸 和行 委員	<input type="checkbox"/> 久川 理恵 委員																	
事 務 局	<p>福祉部 香林次長</p> <p>障害福祉課 鎌田課長 太田主幹 窪副主幹 高木副主幹</p> <p style="padding-left: 4em;">本山主任 植木主事 関主事 伏見主事 時田主事</p>																		
議 事	<p>(1) 基幹相談支援センターの設置について</p> <p>(2) 障がい者総合計画における改定時アンケートの実施について</p> <p>(3) (仮称) 戸田市手話言語条例素案決定の報告について</p> <p>(4) その他</p>																		
会議結果	別紙、会議の経過のとおり																		
会議録確定	令和元年11月 5日 会長氏名 新井 利民																		

会議の経過

会議の進行・発言内容・決定事項	
1. 開会	
事務局より、開会が宣言された。	
2. あいさつ	
会長	会長あいさつ。
事務局	手話言語条例の制定にあたり、学識経験者として協力を依頼している東京家政大学 田中先生の紹介。
3. 議事	
(1) 基幹相談支援センターの設置について	
事務局	(資料1) 基幹相談支援センターの設置について説明。
委員	委託の相談支援事業所を1者増やしたということだが、その経緯を説明して欲しい。
事務局	平成30年度末に委託の相談支援事業所が1者事業閉鎖になったことを受けて、市内の指定特定相談支援事業所に声をかけたところ、2者の応募があり、プレゼンテーション等による選定の結果、「障害者生活支援センターひかり」に委託することとなった。
委員	新たな委託の相談支援事業所として、障害者生活支援センターひかりに決定したが、委託の相談支援事業所3者ある内の2者が同法人の事業所となることについては問題ないのか。
事務局	市内の指定特定相談支援事業所にお声がけしているので、公平な選定である。
委員	基幹相談支援センターの設置については、市内の事業所から選定するものなのか。
事務局	基幹相談支援センターの設置を委託した場合の事業所の選定方法については、今後の自立支援協議会などで検討をしていく予定である。
委員	基幹相談支援センターについて、国が示す機能についての説明があったが、この機能について国はいつから示していたのか。
事務局	平成24年ごろから示されている。
委員	基幹相談支援センターに設置について、委託の相談支援事業所とは切り分けての導入に至った経緯とは。

事務局	障害者から直接相談を受けるというよりは、相談支援事業所の後方支援を求める意見が多数挙がったためである。但し、市民の相談をどれだけ受けていくかについては、役割の明確化の際に具体的な検討を進めていく。
委員	基幹相談支援センターの設置を検討することとなった経緯を知りたい。
事務局	障害者の重度化・高齢化や、親亡き後を考えたときに相談支援体制の充実の議論があり、基幹相談支援センターの設置の検討をすることとなった。
委員	障害福祉に係る申請は、どこにするようになるのか。
事務局	基幹相談支援センターの設置方法と同時に、検討を進めていきたい。
委員	基幹相談支援センターを市の運営とした場合には、国や県からの負担金は出なくなるのか。
事務局	国が示すような要件を満たした場合であれば、直営であっても負担金が充当となる。
委員	支援する側の内容が多いように思えるが、相談者視点ではどのような充実が図られているか。
事務局	基幹相談支援センターによる、地域移行・地域定着へ向けた取り組みが期待される。また、市民の相談窓口としては、今後検討を進めていく。
会長	基幹相談支援センターの設置により、後方支援をはじめ、困難ケースへの助言などを担う体制が整うことで、市民の身近な相談窓口のさらなる体制の充実・質的向上が期待される。
委員	基幹相談支援センターの検討の際に、蕨市の方式を例として挙げた理由を教えて欲しい。
事務局	近隣の基幹相談支援センターを設置している自治体の中で、蕨市の相談支援体制が本市と近いため。
(2) 障がい者総合計画における改定時アンケートの実施について	
事務局	(資料2) 障がい者総合計画における改定時アンケートの実施について説明。
委員	アンケート改定時の追加項目として、個人や法人がどういった合理的配慮ができていくか把握するためのアンケート内容の追加とあるが、それはどのように把握するのか。
事務局	事業所、企業に雇用されている障害者や、障害者を受け入れている事業所等からの意見をもとに整理する。

委員	アンケート改定時に内容の追加とあるが、前回のアンケート内容を削って追加するのか。
事務局	アンケートの回答のし易さや予算を考慮し、一部削り今回の内容を追加することとなる。
委員	視覚障害者へのアンケートについては、本人ではなく介助者に回答依頼をすることになるのか。また、点字のアンケートの作成はあるのか。
事務局	アンケートは視覚障害者本人に郵送し、介助者に対しては、本人にアンケートの回答依頼をしたことの通知をする。また、点字のアンケートの作成は予定していないが、職員が直接赴いての回答依頼をするなどの方法の検討はしている。
委員	障害者本人へのアンケートの有効回収率が50%を下回っているため、回答しやすいアンケートの作成をお願いしたい。
会長	3年に1回の改定ということであるので、推移を見るべき項目を絞りつつ、不要な質問を削ると、アンケート内容の削除・追加がまとまり、回収率の向上にもつながると考える。
委員	以前のアンケートのとり方について、差別事例の質問の欄に自由記述欄がないが、今回のアンケートはどのように行うか。また、今年に施行された読書バリアフリー法についての質問はあるのか。
事務局	自由記述欄を設け、差別事例について把握できるように努める。視覚障害のある方の読書については、ヒアリング等を活用しながら検討を進める。
(3) (仮称) 戸田市手話言語条例素案決定の報告について	
オブザーバー	条例素案の決定に至る経緯について報告。 この条例制定が契機となり、手話を使用しやすい環境づくりに向けて、着実に施策が推進していくことに期待している。
事務局	(資料3) (仮称) 戸田市手話言語条例素案決定の報告について説明。
委員	田中先生に、2日間代表者会議に出席された感想と、今後戸田市が手話言語条例を進めていくにあたってのアドバイスをいただきたい。
オブザーバー	代表者会議では、非常に活発な意見が出され、良い条例の素案ができたと思う。また、事務局も真摯に答え、良い形を模索し、協力する体制が見えたので、明るい見通しを感じている。
委員	パブリックコメントについて、広く市民の意見を伺うとのことだが、ろう者や手話に対する理解がまだ進んでいない中で、市民から条文を変更して欲しいという意見が出て、私たち当事者団体と市民の要望にずれが生じる

	ことが疑問かつ不安である。
事務局	必ずしもパブリックコメントでいただいた意見によって、条文を変えろというものではない。内容を精査し、その中でどうしても変更しなければいけない内容があれば、関係団体の方と調整をしたい。
委員	可能であれば、パブリックコメントを募集する際に、手話の動画を作ってみたらどうか。文字の読み書きもできない聴覚障がい者もいるので、提案をしたい。また、手話を知らない方にも見てもらうきっかけになると思う。
事務局	手話通訳者派遣事務所に可能かどうかを相談し、前向きに検討したい。
委員	条例制定後も、本施策推進協議会にて報告を予定しているため、会議時間が長くなるかもしれないが、委員の皆さんにはご協力をお願いしたい。
委員	戸田市独自の文言が入ったと説明があったが、関係団体のヒアリングなどで反映された意見が他にあれば教えてもらいたい。
事務局	関係団体からいただいた意見は基本的に条文に反映している。条例を検証する会議の場を設けてほしいという意見に対しては、条文ではなく、逐条解説に反映させており、手話言語条例代表者会議の中で、条例の検証や施策の展開について議論していきたい。
(4) その他	
①まちづくり推進課から、(資料4) 戸田市移動等円滑化促進方針の策定について説明。	
委員	バリアフリーに関するアンケートの各団体の配分について。
まちづくり推進課	全部で180部の用意があるため、その枠の中で調整する。
委員	アンケートの回答者は、本人だけでなく家族なども可能か。
まちづくり推進課	本人以外でも、本人の意向を代弁できる支援者も可能である。
委員	障害種別での割合の考慮はなく、関係団体あてに一元的に行うものなのか。
まちづくり推進課	様々な障害者関係団体へのアンケートを実施することで、幅広い意見を取り入れることができると考える。
委員	団体利用者へのアンケートということだが、複数の団体に所属している利用者が重なって回答する可能性はないのか。
まちづくり推進課	多少の重なりは許容しつつ、一定数の回答からアンケートの目的を達成したいと考える。
委員	団体の中には、視覚障害者や聴覚障害者など様々な方が在籍しているが、障害種別によってアンケートは変えるのか。
まちづくり推進課	アンケートは共通の質問で行う。わからない分野の質問についても、回答

	しやすいような選択肢にしている。
委員	策定協議会について、それぞれの団体からの委員への要望はあるか。
まちづくり推進課	必ずしも1名でなくてもよいが、それぞれの分野に精通した方に出席をお願いしたい。
②委員から、バリアフリー研修の紹介。	
③事務局より、パラリンピック聖火ビジットの実施についてと今後の予定を報告。	
4. 閉会	
以上	